

生命と死を考える

科目責任者 馬 籠 信 之
学年・学期 1 学年・1 学期

I. 前 文

「生」と「死」について考えてみます。「生命とは何ですか?」「生物と非生物の違いは何ですか?」と改めて問われると、実は、回答に困ります。このような問いに対して、思考実験や調査から、自分の考えを明確化してみます。他者との議論を通じて、自分なりの「生命観」や「死生観」を考えるきっかけとして下さい。

II. 担当教員

馬 籠 信 之 (基盤教育部門)

III. 一般学習目標

1. 「生」と「死」の違いを考える。
2. 各自での「死生観」を考える。
3. 議論を通じ、自分と他者の違いを理解する。

IV. 学修の到達目標

1. 自身の設定した課題に関する資料を調査できる。
2. 自分の意見を主張し、他者と議論ができる。
3. 自分なりの生命観を持てる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	4	30	水	5	ガイダンス	馬 籠 信 之	1
2	5	7	水	5	生命とは?		1, 2
3		14	水	5	生物らしく見えること		1
4		21	水	5	討論 (その1)		5
5		28	水	5	もしも「不死の体」になったなら?		2
6	6	4	水	5	脳死について調べてみる		1, 2
7		11	水	5	討論 (その2)		5

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

議論の内容を踏まえたレポートを作成し、その内容により評価する。

(レポート100 %)

Ⅶ. 教科書・参考図書・AV資料

特に必要でない。

Ⅷ. 質問への対応方法

授業中、あるいは、メール等で対応する。

Ⅸ. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	○
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	○
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

Ⅹ. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートにコメントを付して返却する。

Ⅺ. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

「シラバス別冊」に記載した。

Ⅻ. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01, PR-03-01-02, RE-01-01-02, RE-03-01-01, RE-04-01-02, RE-04-01-03